

特集

“ムダ”を省き、看護サービスの質を高める

セル看護 提供方式

セル看護とは、患者や看護師の利益にならない“ムダ”を省いて、ケアの受け手にとっての価値を最大化する看護提供方式です。看護の質の向上と、働き方改革を背景とした業務効率化との両立を目指す中で、注目が高まっています。

本特集では、セル看護提供方式を開発した飯塚病院や、他の導入病院の実践報告を通して、導入のプロセスとマネジメントの実際を解説し、その特徴やアウトカムを具体的に紹介します。

- セル看護提供方式とは何か
- セル看護提供方式での
現場マネジメントの変化
- セル看護提供方式における
マネジメントの実際
- セル看護提供方式における業務の流れ

【コラム】

試行当時の導入病棟における
看護師長の実践

【実践報告】

トヨタ記念病院の取り組み
中頭病院の取り組み
潁田病院の取り組み
谷田病院の取り組み

執筆者
一覧

飯塚病院

須藤久美子



森山由香



セル看護プロジェクトチーム

倉智恵美子／溝田智美／小松加寿子／和田麻美／
藤井美保／日置由季／塔野史子



トヨタ記念病院

佐野マスマ／織田佐知子／桜間知佐子／築山久美子／
小林英見／青山麻美

中頭病院

翁長多代子／仲宗根ゆかり

潁田病院

木川真由美

谷田病院

岩崎真由美／福島由美／上田梨絵